報道関係者各位

2022年3月28日 株式会社 赤塚植物園

【花の情報】200 品種、約3000本のシャクナゲが咲くガーデンを4/3より公開 早咲き品種は開園時から6分咲きに新品種の初披露も予定

株式会社赤塚植物園(本社:三重県津市高野尾町 1868 番地の 3、代表取締役社長 赤塚耕一)は 4 月 3 日 (月) より、「赤塚シャクナゲガーデン」の本年の一般公開を行います。見頃のピークは 4 月中旬で、見頃が終わる 4 月下旬までの開園を予定しています。早咲き品種は例年より 5 日ほど開花が早く、 4 月 3 日には 6 分咲き程度の見頃になると予想しています。

1. シャクナゲ(石楠花)について

ツツジやサツキと同様、ツツジ科ツツジ属の植物。華やかで気品にあふれる姿から「花木の女王」など と呼ばれる一方、シャクヤク(芍薬・ボタン科)と混同されることもあり、山奥にひっそりと咲くイメー ジがあるためか、日本の家庭園芸の品種として認知度は高くないと思われます。

欧米ではシャクナゲは人気が高く、花数や色が豪華で優れた品種があり、当社は 1972 年に西洋品種の 国内導入を開始。しかし、日本の高温多湿な環境では育たないことがわかり、自社で交配・育種を繰り返 した結果、日本でも元気に育つ品種を開発しました。当社オリジナルの人気品種として「ウェディングブ ーケ」「真珠姫」などがあります。

育種開発は 40 年以上たった今も継続中で、今年の秋から苗を発売する予定の新品種をシャクナゲガーデンで初披露し、「世界にたった一つ、ここだけで咲く花」として話題を提供します。

2. 赤塚シャクナゲガーデンと約 500m の「シャクナゲロード」

赤塚植物園が生み出した優れたシャクナゲを普及することを目的に、2013年に栽培見本農場として開花時期限定で一般公開を開始しました。広さ約1万㎡の園内に200品種以上、約3,000本のシャクナゲを植栽。期間中、早咲きから遅咲きの品種が順番に開花していきます。

当園は平地の幹線道路沿いという、シャクナゲにとっては過酷と思われる場所に位置することが特徴です。山奥に咲く花ではなく、家庭園芸でも楽しめる丈夫な花としてシャクナゲを普及させることを目的としています。また、当園周囲の約500mの垣根にもシャクナゲを使用。県道10号沿いは開花時「シャクナゲロード」となり、行き来する人の目を楽しませます。



▲園内の様子(左がウェディングブーケ)



▲真珠姫



▲県道 10 号沿いのシャクナゲロード

※詳細はパンフレットをご覧ください。「赤塚グループ プレスリリース」で検索してご覧になれます

🖓 プレスリリースに関するお問い合わせ先 🖓

~ いつもありがとうございます ~

赤塚シャクナゲガーデン TEL 090-6384-1186 (開園期間、営業時間内のみ) (株)赤塚植物園 TEL:059-230-1234 (担当:広報部 koho@akatsuka.gr.jp)

AKATSUKA プレスリリース

【昨年の様子】









【今年の様子】 3月23日撮影。極早咲き品種が咲き始め(品種名は左上から順に銀泉、ゆめ、修善寺)







